

平成24年度土地開発公社決算の概況

第三セクター等改革推進債等を活用した抜本的改革を推進

- 県内の市町村土地開発公社が保有する土地は減少傾向にあるものの、保有期間が長期化。このため、保有土地の評価損等の発生により13公社のうち3公社が債務超過。
- 各市町村では、経営状況等を踏まえて事業のあり方を検討。第三セクター等改革推進債を活用し、3公社が解散する等、抜本的な改革を推進。
- 平成24年度末の公社の借入金に対する市町村の債務保証額は150億93百万円となり、対前年度比で▲86億39百万円（▲36.4%）減少。

公社数	平成24年4月1日時点	16	
	平成24年度中に解散済	3	橋本市※、有田市、新宮市※
	平成25年4月1日時点	13	
	平成25年度中に解散予定	5	和歌山市※、海南市※、御坊市※、かつらぎ町※、九度山町※
	解散に向けて検討中	2	有田川町、白浜町
	当面存続	6	田辺市、紀の川市、岩出市、紀美野町、日高川町、串本町

・※印は、第三セクター等改革推進債活用(予定)であることを表す。

□長期保有土地（5年以上）の状況

《平成24年度末の土地保有の状況》金額ベース 160億87百万円（対前年度 ▲88億80百万円、▲35.6%）
 《長期保有土地（5年以上）の状況》金額ベース 146億76百万円（全体に占める割合は91.2%）

□債務超過状態である公社

- ・御坊市土地開発公社 債務超過額 7億99百万円（対前年度 ▲20百万円）※H25解散予定
- ・紀の川市土地開発公社 債務超過額 52百万円（対前年度 ▲23百万円）
- ・かつらぎ町土地開発公社 債務超過額 8億69百万円（対前年度 ▲70百万円）※H25解散予定

□債務保証額の状況

《平成24年度末の債務保証額の状況》 150億93百万円（対前年度 ▲86億39百万円、▲36.4%）

《債務保証額の標準財政規模に対する割合が高い上位3団体》

- ・海南市 17.4%（債務保証額：24億48百万円 / 標準財政規模：140億36百万円）※H25解散予定
- ・かつらぎ町 22.1%（債務保証額：13億15百万円 / 標準財政規模：59億37百万円）※H25解散予定
- ・九度山町 25.7%（債務保証額：5億54百万円 / 標準財政規模：21億59百万円）※H25解散予定

平成24年度第三セクター決算の概況

- 市町村から損失補償を受けている法人は3法人。うち、湯浅町開発公社は平成25年7月に破産手続開始。
- 法人が破綻した場合に、市町村に多額の財政負担が発生するため、損失補償の縮小に向けた取り組みを進めることが必要。

□市町村から損失補償を受けている法人

- ・ 湯浅町開発公社 損失補償額 14億50百万円 (対前年度 ±0百万円)
- ・ 白浜医療福祉財団 損失補償額 5億99百万円 (対前年度 ▲74百万円)
- ・ 白浜観光自動車道 損失補償額 37百万円 (対前年度 ▲6百万円)

□経常赤字額の大きい法人

- ・ 湯浅町開発公社
経常赤字額 1億7百万円
(対前年度 ▲36百万円)

□債務超過法人

- ・ 龍神温泉元湯
債務超過額 2百万円
(対前年度 ▲2百万円)

◎第三セクターの状況

区分 年度	法人数	経常黒字 法人	経常赤字 法人	債務超過 法人	損失補償 を受けて いる法人
H24	38	20	18	1	3
H23	41	19	22	3	3
対前年度	▲3	+1	▲4	▲2	±0

※県内市町村の出資割合が25%以上の法人を対象としています。
(複数の地方公共団体の出資割合の合計が25%以上の法人を含みます。)